



三遠メディメイツ理事長 ● 三木隆治

明けましておめでとうございます。

平成8年に三遠メディメイツを設立し、駅南診療所を立ち上げてから今年で10年目に入ります。この間様々なことがありました。

今では駅南、豊川、豊橋の各クリニックともほぼ順調に皆様のお役に立っています。

各クリニックの建物も美観と安全性を保つため絶えず改装し、透析機器も出来るだけ新しく優れたものに絶えず変えてきました。

これらは最新の透析技術を支える基礎だからです。

勿論、中にはシャントトラブルや職員の対応などでご迷惑をかけていることも、報告書を通して私は承知しています。しかしそれらも各クリニックの医師や職員の努力により地道に解決されてきていると信じています。

同時に社会人としてのマナーや挨拶がきちんとできるように職員教育も進めます。



三遠メディメイツの展望

～2006年の各クリニックを語る～

良質の透析医療を貫くために

日本が超高齢社会に突入するに従い透析患者さんの年齢も高くなり、糖尿病をはじめとした合併症も急増しています。それと同時に自分の力では透析施設に通院できない患者さんが増えていますが、スターフィールドと連携し何とか私たちの努力で通院を保障しようとがんばってきました。

ところが今年の4月から、国の財政赤字を背景に政府は患者さんにも医療従事者にも重い負担をかけてくると言われています。私たちはどんなに厳しい状態になっても、知恵を出し合い、また経費の節減など職員の内部努力により良質の透析医療を貫いてゆきたいと考えますが、その支えになるのは患者さんのご理解とご支援です。

これからも様々な困難が降りかかってくるでしょうが、ともに協力して健やかな透析ライフを貫きましょう。

腎友会 行事予定

駅南クリニック腎友会

3月末

・患者会総会

豊橋メイツ腎友会

1月29日
2月

・幹事会
・勉強会

2006年の新年の挨拶

豊橋メイッククリニック院長 ● 小池茂文

あけましておめでとうございます。

今年には寒波・新型(鳥)インフルエンザ・障害者自立支援法という3つの心配事を抱えての新年となりました。

年の瀬の記録的な寒波の襲来で、私の岐阜の自宅では初めての屋根の雪下ろしを体験しました。年に何度か除雪車が出動する地域ですが、今年の冬は関ヶ原に匹敵するほどの大雪でした。近くの体育館や岐阜バス駐車場の車庫が倒壊する事故(新聞掲載)も起きました。隔年ぐらいで私の自宅の向かいの家では2階の屋根の雪が落ちて1階のテラスが壊れていますが、昨年末は屋根の雪で駐車場の車の屋根が潰れてしまいました。(実は私の自宅も4年前に雪の重みで車

庫の屋根がつぶれて建て直しています)。今回の冬は例年に比べて暖冬気味と言う気象庁の予測は寒波後にすぐに変更され、例年以上の寒さと予測されています。寒波の和らぐ事を祈ります。

また乾燥した冷気がないインフルエンザは空気中で生きられないため、寒波の襲来とインフルエンザの流行は密接な関係があります。近年、鳥インフルエンザや新型インフルエンザの流行が心配されていますが日本に流行しない事、感染症に弱い透析患者の皆様に流行しない事を祈るばかりです。

さらに政治面では、皆さんにとって4月より頭の痛い問題が待ち構えています。昨年成立した障害者自立支援法です。日本道

路公団民営化に始まる小泉改革は、今年の郵政民営化に続き、医療費削減の決定ならびに障害者自立支援法を立法化しました。障害者自立支援法とは文字通りの障害者の自立を支援する法律ではなく、『増大する福祉サービス等の費用を皆で負担し支え合う仕組みの強化』という形で、障害者の利用したサービスの量や所得に応じた負担を障害者に求める事で、国の財政責任の軽減を図るためのものです。

患者の立場だけでなく、私たち医療従事者にも総医療費の抑制という形で国は負担を求めており、医療を取り巻く環境は益々厳しさを増しています。

しかし、そんな中でも皆さんの期待に答え



るべく、透析医療の質を確保できるように今年も鋭意努力をして参ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

今年も駅南クリニックを宜しくお願いします。今年4月に磐田駅南側に新都市クリニックがオープンし患者獲得の一層の競争激化が予想されます。現在まで静岡県西部ではシャント造影・インターベーションを実施する透析施設は当院以外にはほとんどありませんでしたので、初めてのライバル出現です。お互い切磋琢磨してがんばっていきたくと思います。

また当院では豊橋・豊川メイッククリニックに比

駅南クリニック院長 ● 松田修一

較して脳血管障害・心血管病変などの合併症を安心して任せられる専門病院が近隣に無いのが現状です。駅南クリニック、豊橋メイッククリニック、豊川メイッククリニック、3診療所で透析を受けられる患者さんはすべて公平に治療を受ける権利があると思いますので、頸部・胸腹部エコー・ホルム検査など当院で可能な検査を充実させ合併症の早期発見につとめ、遠方ではありますが豊橋医療センター・ハートセンターも有効に活用していきたいと思っています。

最後に、去年は吉田先生が退職され、植村先生もご高齢でありますので他の先生方の力をお借りしなくてはならない時があると思いますのでその際は宜しくお願いいたします。努力をして参ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



シャント管理の取り組み

シャントセンター長 ● 柴田雅也

当院の関連施設で透析を受けている患者さんは400人近くになります。安定して透析を受けていただくためには良好なシャントが不可欠です。以前にも書きましたが最も厄介なトラブルは感染と閉塞です。これを避けるために透析室のスタッフとともにシャントの観察(聴診、視診、触診)をおこなっています。しかし残念ながら無くなった訳ではなく特に予兆なく閉塞してしまう例もあります。このような場合、透析に特に問題がなくても定期的な造影検査を施行し閉塞に至るまでの発見、治療を心がけております。この取り組みにより、このようなトラブルは当院では以前に比べ格段に減少しています。他の施設の報告と比べても良好な成績であると考えています。



また他の透析施設よりの紹介患者も増加しており、これらは閉塞などの厄介な症例の比率が高く緊急を要する症例が多いです。このため予定していた検査、治療の変更をしなければならなくなる場合もしばしばありました。皆様にもご迷惑をおかけいたしますが宜しくお願いいたします。

年頭のご挨拶

豊橋メイッククリニック ● 万見利之

早いもので私がメイッククリニックに勤務することとなり半年以上が過ぎました。初めは以前勤務していた職種との違いから戸惑いもありましたが皆様に支えられて仕事も慣れてまいりました。この間に、三木先生を始め先輩の先生方、病院スタッフそして患者様方から様々な事を教えていただきました。そして医師としていろんな経験も積むことができました。ありがとうございました。

今年、私は36歳となります。“年男”になるわけです。40歳を目前とする事になります。“惑わない年齢”といわれている40代ですが今の自分ではまだまだ惑わずに生きていけない状態にあります。今後を惑わずに生きていくためにそして更に医師として力を発揮できるようなるために今年は今以上に知



識を得て経験をかさねていくよう頑張りたいと考えています。これからもよろしくお願いたします。